

報道関係者 各位

平成 30 年 12 月 13 日

日本橋公会堂で日々の研究成果を発表
第 18 回 〈ゆうゆうの里〉 職員実践研究発表会を開催
笑顔あふれる「元気付」ホームを目指して

介護付き有料老人ホーム〈ゆうゆうの里〉を全国 7 施設運営している日本老人福祉財団が平成 30 年 12 月 8 日（土）日本橋公会堂（東京都中央区）にて「第 18 回職員実践研究発表会」を開催しました。当日は、入居検討者、企業、他の事業者、内定者を含め、総勢 217 名が参加しました。



【発表会の様子】



【座長及び優秀賞受賞者】

上段左から岸田氏、榊氏、田島氏、青木理事長

下段 優秀賞受賞の職員

I. 概要

各施設の〈ゆうゆうの里〉で行われている研究活動をまとめ、施設ごとに発表会を開催し、その中から選出された、20 演題を 4 つの群に分けて発表しました。当日は、群ごとに座長を設け、それぞれ優秀賞を選出しました。

今回も介護部門、事務部門（経理・総務・入居者募集・施設維持）、食事部門、有料老人ホームに併設されている診療所まで多岐にわたる部門での研究発表がありました。

座長は、第 1 群 田島誠一氏（日本福祉大学 福祉経営学部 医療・福祉マネジメント学科教授）、第 2 群 岸田宏司氏（和洋女子大学 学長）、第 3 群 榊美智子氏（社会福祉法人浴風会 第三南陽園 園長）、山下興一郎氏（淑徳大学 総合福祉学部 社会福祉学科准教授）にそれぞれの発表に対して講評を頂きました。

今後も研究活動を通じて、入居者へのサービス品質の向上を目指してまいります。

◆優秀賞受賞演題

第1群：新入居者の『やりたい』を形に～スポーツ吹き矢サークル立ち上げに向けて～

伊豆高原〈ゆうゆうの里〉事務管理課 影山智英

概要：入居して間もない入居者A様が、入居前から希望していた「スポーツ吹き矢サークル」の立ち上げを支援した事例。入居者の「やりたいこと」の実現をサポートしました。

第2群：大切なあなたを多方面から支えます～多職種連携の新入居者栄養サポートの試み～

京都〈ゆうゆうの里〉栄養ケアマネジメント委員会 自立支援担当 野口明音

概要：今までは入居時に関わるのは介護部門が中心でしたが、食事サービス課・診療所が加わり、多職種で連携して関わり〈ゆうゆうの里〉で安心して生活出来るようにサポートをしました。多職種連携では、サイボウズ「ガルーン」や記録管理システム「ちょうじゅ」などのICTを活用し情報共有を図りました。

第3群：高齢者が放射線治療後の生命危機を乗り越えた事例

～家族・職員が目標をひとつにした関わりで回復に至った～

浜松〈ゆうゆうの里〉医務課 田中京子

概要：胃粘膜に悪性リンパ腫を発症した方の放射線治療後の関わりについて、家族の支援や各職種の職員が連携して関わった事例。座長の榊氏からは、「職員・家族が寄り添う、まさに入居者と伴走した素晴らしい取組事例だと思う」との話がありました。

第4群：「トイレ行きたいねん」～あなたに合う介護リフトは～

佐倉〈ゆうゆうの里〉ケアサービス課 齋木浩一

概要：入居者に身体状況と思いに合わせたリフトを導入した事例。床走行式リフトなどさまざまな種類を試したが電力を使うような物々しさを感じるものを嫌う傾向があり、上手くいきませんでした。そこで電力不要の移乗機『TRANSing』（有限会社京和工業）を導入することによって入居者が安全に移乗することが出来、さらに職員2名介助から1名介助になり、職員の腰の負担も軽減されました。

◆講演会

タイトル：血管を若く保つために（コレステロールとは？）

講演者：湯河原〈ゆうゆうの里〉診療所 所長 山口寛氏

予防医学の勉強会のうち、動脈硬化にならないように、血管を若く保つ為にはどのようにしたら良いかという内容でした。

ポイントとして、LDL（悪玉）コレステロールが高値の人には、現在は、スタチン系治療薬のようなLDLを下げる薬の話や中性脂肪の高い人（肥満）はカロリー制限、バランスの良い食事、適度の運動などが挙げられていました。食事では、地中海ダイエット（日常食）の紹介があり、明日にでも実践できる予防法が紹介されました。



【講演を行う山口氏】

II. 日本老人福祉財団の概要

財団名：一般財団法人 日本老人福祉財団

理事長：青木 雅人

設立：1973（S48）年

事業：介護付き有料老人ホーム〈ゆうゆうの里〉を全国 7 か所（佐倉、湯河原、伊豆高原、浜松、京都、大阪、神戸）で運営。

特徴：1973年に設立された有料老人ホームの中では歴史が長い団体。自立の状態でご入居いただき、最期の時まで暮らせる住まい（終の棲家）を提供。1施設あたり平均 300 戸を超える大型施設の「高齢者コミュニティ」を展開している。

H P：<https://jscwo.jp/>

〈職員研究活動〉年度別職員研究活動一覧：<https://jscwo.jp/business>

https://www.yuyunosato.or.jp/operation_1.html

III. 問い合わせ先

日本老人福祉財団 本部 サービス支援部 富田

T E L：03-3662-3611

E-mail：tomita-ak@yuyunosato.or.jp